

気候変動を踏まえた新たな取組の方向性【稲沢市】



みんがでまもる土岐川・庄内川

- 気候変動に伴う水害リスクの増大に備え、これまでの「庄内川水系流域治水プロジェクト」に基づく取組に加え、主に「雨水貯留施設の充実」を重点的に取り組んでいく予定です。
- また、引き続き協議会構成員・オブザーバーが一丸となって『河川や流域での対策』や『流域治水への理解や参画を促す取組』を継続的に推進していくことにより、流域の安全・安心と持続的発展を目指します。

雨水貯留施設の整備



校庭貯留のイメージ

市民と力を合わせた流域治水



市民と力を合わせた「流域治水」の取り組みを進めるため、SNSや市イベントでの啓発活動の充実に取り組めます。



R5稲沢まつりの様子

補助金額

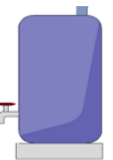
雨水貯留槽

補助率

工事費総額の3分の2に相当する額を補助します！

補助限度額

・100ℓ以上、300ℓ未満のとき、1基あたり最大20,000円まで
・300ℓ以上のとき、1基あたり最大40,000円まで
※ただし一団の土地につき、100,000円まで(浸透槽も含む)



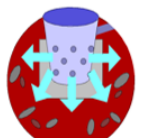
浸透槽

補助率

工事費総額の3分の2に相当する額を補助します！

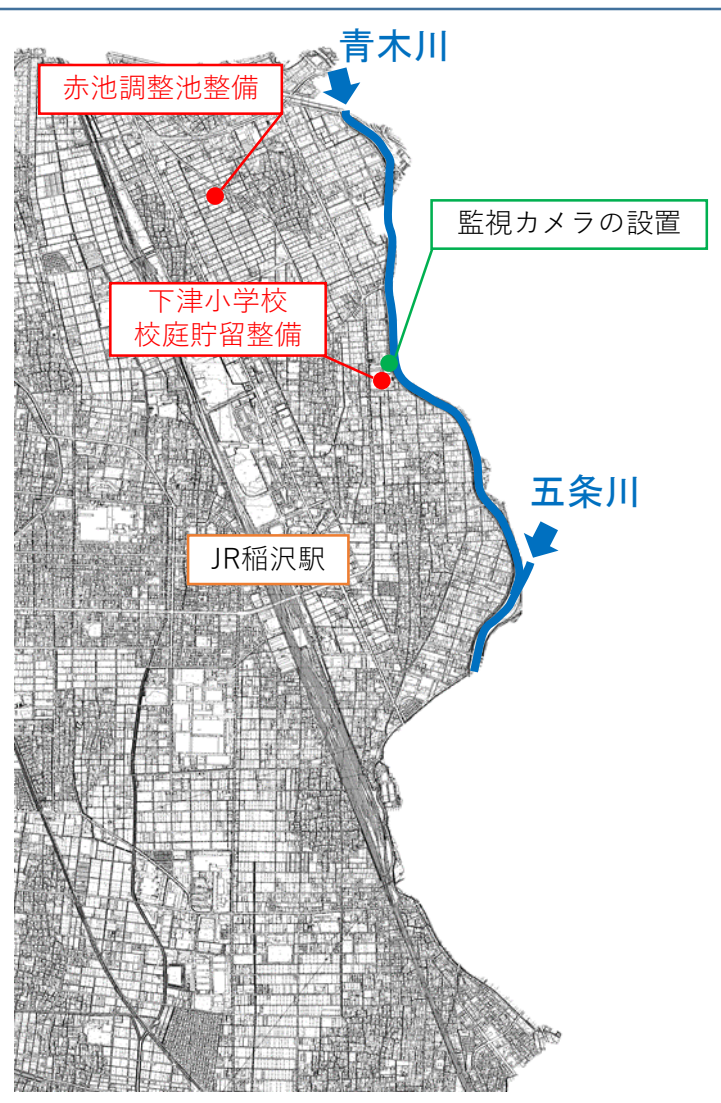
補助限度額

・内径150mm以上のもので、1基あたり最大10,000円まで
※ただし一団の土地につき、100,000円まで(雨水貯留槽も含む)



【稲沢市の流域治水対策】

- 安全・安心に暮らせるまち「INAZAWA」をめざす。
- 雨水貯留施設の整備、被害の軽減対策を実施していく。



対策メニュー

短期

中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（調整池、流域貯留の整備）
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留施設等設置補助金）
- 内水被害軽減対策
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールを検討

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画の策定の推進）
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知（防災マップの配布）
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設